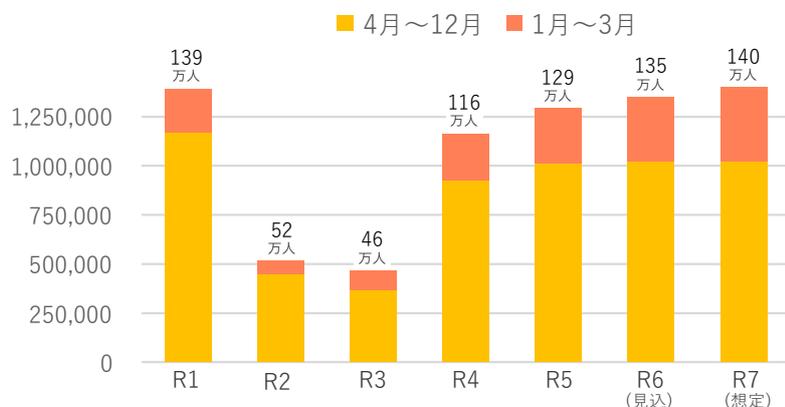


令和7年度旭山動物園の取組について

R7.1.16 旭山動物園

入園者数の状況



- ・コロナからの回復が堅調に推移し、R6年度は135万人程度の見込み
- ・R7年度はコロナ前の水準である140万人程度を想定
- ・冬期(積雪期)の入園者数が増加傾向であり、インバウンドの増加も顕著

R7年度の主な取組 (予定)

飼育環境の維持・向上

- 「マヌルネコ舎」増築工事
- 「こども牧場」エアコン新設
- 「水禽舎」換気設備の改修
- バックヤードの充実 (動物ケージ新設)

効果的な情報発信

- SNSによるライブ配信
- 道外百貨店でのプロモーション
- 企業とのコラボ企画 (ラッピングバスなど)
- 新たなイベント企画 (動物弁論大会など)

利便性の向上

- チケット券売機の更新
- チケット外部販売先の充実 (主にインバウンド向け)

快適な園内環境の整備

- 遊具コーナーの新設 (コンセプト遊具・インクルーシブ遊具)
- 「こども牧場」東屋増設(日除け)
- 洋式トイレの拡充

環境保全活動の推進

- ガイド・イベント等を通じた啓発活動
- JICA「草の根技術協力事業」 (マレーシア・ボルネオ島での保全活動)
- 環境保全団体との連携・支援
- 北海道産いきもの保全プロジェクト (道内 動物園・水族館との連携事業)

ゼロカーボンZOO〔市の脱炭素 先行モデル〕

目的	内容 (中期・短期)	R7年度の主な取組
<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素(環境配慮)の機運醸成 ● 持続可能な効率的運営 ● 環境を切り口とした新たな価値創造とブランディング向上による来園者確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再エネ・省エネの導入・実証・太陽光発電/蓄電池 及び バイオマスの導入検討 ■ 災害レジリエンスの強化 ■ カーボンオフセット導入 ■ 関連ソフト事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 脱炭素化に向けた基本設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー消費量調査 ・ 関連設備のスペック検討 ・ 導入効果の試算 など ▶ 温室効果ガスの排出量調査 ▶ マイボトル持参者への飲料割引